

令和4年度 事業報告

*親子のふれあいの場づくりと、

子育てに悩む親の支援に関する事業*

1 もんぜんぷら座こども広場	回数	参加人数
<p>医療警報特別警戒レベル5の発出により昨年より続いていた休業は、4月18日より解除され、開館することができた。閉館の間は昨年同様にオンラインで情報発信等工夫するなど、気軽に自宅と広場のスタッフが交流できるように「オンラインじゃん・けん・ぽん」も実施し、自宅での「親子の時間」を支援した。</p> <p>広場の利用は1日を3クールに分け、完全予約制で開館し、イベント等は感染予防をしながら、参加人数を制限し実施した。また、感染状況により来館組数を段階的に増やし、コロナ禍でも来やすい状況を作ることを工夫し喜ばれた。さらに令和5年3月13日からは、より利用しやすいよう1クールの時間を伸ばし2クールにし参加組数も増やし、利用者ニーズを捉え開館した。</p> <p>I 実施事業</p> <p>1 子育て中の親とこどもの交流に関する事業</p> <p>(ア) ねんねの会 毎月2回</p> <p>(イ) オンラインじゃん・けん・ぽん</p> <p>・上記の他、開館日には毎日各クール終了前に、工夫して「手あそび」や「うた」「体を使ったあそび」などを行った。</p> <p>・休業中に手遊びなどの動画をFacebookを利用して配信した。 閲覧数 4,972回 (4/1~4/28)</p> <p>2 子育てに関する相談</p> <p>ア おしゃべり会の開催</p> <p>・ 年齢別おしゃべり会 6月から再開</p> <p style="text-align: right;">0歳児 9回 60組</p> <p style="text-align: right;">1歳児 9回 44組</p> <p style="text-align: right;">2・3歳児 9回 13組</p> <p>・ はじめてのながのウェルカム交流会 3回 33組</p> <p>・ プレママプレパパペアレンティングセミナー 7回 25組 (内1回 フォローアップセミナー)</p> <p>イ 専門家相談</p> <p>・「こどものこころとからだの相談室」 8回 24件 小児科医(第1木) 14時~16時</p> <p>・「歯科相談」 歯科医師 月1回不定期 11回 75件</p> <p>・「お食事なんでも相談」 栄養士1名 24回 81件 (第1, 3木) 10時30分~15時</p> <p style="text-align: right;">11回 81件</p>		

<ul style="list-style-type: none"> ・「妊娠・出産・母乳相談」助産師3名 (第3金) 12時30分～14時30 ・「お母さんの心の相談室」(第2土) ・「療育相談」療育コーディネーター 月1回10時30分～14時 ・「就業相談」女性就業相談員、女性就業アドバイザー(第2金) ・「ママのための心の相談」臨床心理士 	11回	11件
	11回	16件
	10回	21件
	11回	6件
	毎日	2,364件
ウ 子育て相談 毎日 スタッフ 子育てコンシェルジュ	週5日	3,299件
3 子育てグループ等の育成		
ア 子育てグループへの遊びなどの指導者派遣 第三地区「サンサン広場」 城山公民館「ひよこクラブ」 浅川社会福祉協議会「アップルキッズ」	10回 1回 2回	112組 20組 35組
	2回	9組
イ 子育てグループへの活動スペースの提供		
ウ 子育てグループの紹介 「長野市子育て支援ガイドブック」をホール内に設置すると共に 問い合わせに対しては随時対応した。		
エ 子育てグループ代表者会議の開催 コロナ禍のため、中止	中止	
4 子育てに関する情報の提供		
ア 子育て情報の掲示板の活用 ・利用者からの情報や子育てグループが製作している情報誌等を設置 休館中は中止		
イ 子育てに関するイベント、団体の情報の掲示 ・イベント情報の掲示板を活用し、長野市内にとどまらず子育てに関するNPOグループの情報を掲示。		
5 あそびに関する指導及び助言 子育て中の親とこどもの交流に関する事業に含む	6回	12,000
6 子育て情報誌の発行 子育て情報誌「じゃん・けん・ぽん」の発行(隔月)6回発行		
7 子育て講座、イベントの開催		
ア 子育て講座	2回	40組
・ 子育てお助けセミナー	2回	13組
保育所・幼稚園選びについて(個別対応)	12回	183組
・ わんぱく散髪講座	7回	25組
・ 休日マタニティセミナー	6回	45組
・ プレママ・プレパパのためのペアレンティングセミナー	9回	102組

	<ul style="list-style-type: none"> ・ NP 講座 ・ 親子で絵本タイム <p>イ ながのわくわくパパ講座（実行委員会：スマイルパパ部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Zoom を利用してのオンライン講座として実施 今年度のテーマ 「すべって、のぼって、じゃん・けん・ぼん」 8月26日、11月18日、12月16日 いずれも金曜日 ・ コロナの流行状況を見て、公園で集合講座を企画 10月10日、11月23日、2月19日 いずれも悪天候のため中止 <p>ウ イベント</p> <p>開館中も三密を避けてイベントを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ じゃん・けん・ぼんバースディ ・ 親と子の歯のつどい <p>8 訪問型子育て支援事業</p> <p>妊娠期～6歳未満の子どものいる家庭へ途切れのない支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の状況 新規利用者 89人、継続利用者 7人 産前新規利用者 16人、継続利用者 1人 延べ訪問回数 オーガナイザー＋ビジター 628回 ・ スキームの状況 基本：オーガナイザー4人、 登録ホームビジター59人（活動HV32人） 産前：オーガナイザー2人、 登録ホームビジター38人（活動HV8人） ・ ホームビジター説明会：もんぜんぷら座 ・ ホームビジター養成講座 8人 令和4年5月26日～7月7日 ・ 産前産後支援ホームビジター養成講座 4名 令和5年2月9日、2月16日 ・ ホームビジタースキルアップ講座 <ul style="list-style-type: none"> ① コロナ禍に伴う社会状況の変化が子どもの成長にどのような影響を及ぼしているのか ② 改正 育児休業・介護休業について ③ Zoom の使い方について ④ Zoom の使い方について ⑤ 関東エリア会議・交流会研修会 ⑥ HV 話そう会「最近のホームスタートのついて」 ⑦ HV 交流会 {草木染} ⑧ 乳児院の現状について ・ OGスキルアップ・研修 ホームスタート・ジャパン等が開催するオンライン研修等に参加 ・ 危機管理について 予期せぬ出来事の調査：3件聴取 ・ 運営委員会 	<p>4回</p> <p>6月2日</p> <p>6月2日</p> <p>4月23日</p> <p>5月12日</p> <p>7月25日</p> <p>8月25日</p> <p>8月26日</p> <p>9月17日</p> <p>11月17日</p> <p>1月19日</p> <p>3月10日</p>	<p>19人</p> <p>43組</p> <p>16組</p> <p>4名</p> <p>9人</p> <p>7人</p> <p>2人</p> <p>2人</p> <p>14人</p> <p>13人</p> <p>6人</p> <p>20人</p>
--	--	---	---

令和5年3月9日

9 利用者支援事業

- ・子育てコンシェルジュを配置し、子育て支援の情報提供を行った
月・火・木・金・土
- ・相談の人数 面接：3,179人 電話：120人
- ・利用の状況
ケース数：804件
相談件数：3,299件
内訳 情報提供：1,532件、他の支援につなぐ：300件
同行支援：0件、訪問：0件、その他：23件
傾聴：1,444件

16回 231組

10 その他子育て支援に関すること

ア 世代間交流事業

- ・折り紙講座（シニア講師） 月1～2回

9回 80組

イ ボランティアの受け入れ

ボランティアによるイベントは、コロナ禍により当初予定より実施回数が減っている。

8回 84組

- ・ばぶちゃんからのおはなし・わらべうた（語り） 月1回
- ・ベビーマッサージ 月1回
- ・おもちゃ病院の開催 月1回
- ・みんなで歌おう（長野少年少女合唱団） 月1回
- ・絵本の読み聞かせ（おはなしボランティア） 月1回
- ・交通安全のおはなし 年6回
- ・マザーグースの手遊び 年6回
- ・世界の言葉（ヒップファミリークラブ） 年4回
- ・お姉さんとあそぼう
- ・紙芝居（清泉女学院短期大学サークル）

12回 241組

5回 25組

7回 94組

5回 83組

4回 58組

3回 46組

2回 23組

2回 29組

* ボランティアの受け入れ

社会人 392人、学生 66人、合計 458人
（サマーチャレンジボランティア…中止、
地域まるごとキャンパス、インターンシップ10人を含む）

11回 43組

オ 出張広場

コロナ禍により、休会になった月があった。

22回 114組

- ・ゆりかごの会（月1回 第2火曜日イーストプラザ）
大勢の人のいる所に来られないお母さんのための広場を開催。
- ・あそびましょう（東部保健センター） 月2回
じゃん・けん・ぽんへなかなか来られない地域東部保健センターに出向き、「あそびましょう」を開催。
- ・ふたご・みつご広場（北部保健センター）月1回（第1月曜日）
長野市保健所との協働事業、北部保健センターと共催。
多胎児親子向けの遊びの広場を運営。

12回 76組

	<p>カ 子育て中のお母さんのためのリフレッシュ講座 中止</p> <p>キ 地域連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 善光寺花回廊、権堂七夕まつり、ながのびんずる 等中止 ・ 灯明まつり「ゆめ灯り絵展」に出展 2/9～2/12 ・ ながの子ども・子育て応援フェスティバル 9/19 ・ 地域まるごとキャンパス 2022 に活動フィールド参加 主催 ながの協働ねっと, (特非) 長野県 NPO センター 6名、各3日 延べ18日 <p>II その他</p> <p>ア 教育機関との連携</p> <p>長野市キャリア教育推進事業「赤ちゃんだっこ」 中止 54人</p> <p>長野県立大学健康発達学部こども学科 1回 5人</p> <p>長野県短期大学幼児教育学科 1回 10人</p> <p>「赤ちゃんママのおしゃべり会」 4回 22人</p> <p>長野看護専門学校臨地実習 母性看護実習 各2日 4人</p> <p>長野清泉女学院短期大学 助産学専攻科 7日間 1人</p> <p>看護実習</p> <p>佐久大学信州短期大学保育実習</p> <p>つくば開成高校 乳幼児ふれあい交流 年2回 8人</p> <p>社会教育実習 (立教大学)</p> <p>イ 行政等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もんぜんぷら座防災訓練に参加 6月28日、10月26日 <p>ウ 視察・見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視察 <ul style="list-style-type: none"> 長野副市長 子育て家庭福祉課 保育・幼稚園課 西部保健センター (ネウボラ担当) りんどう支援センター ・ 取材に協力 <ul style="list-style-type: none"> 信濃毎日新聞社、長野市民新聞、週刊長野 SBC 信越放送、テレビ信州、長野放送、 長野ケーブルテレビ <p>III 令和4年度 利用者数 23,247人</p> <p>乳幼児数 10,152人、小学生 2人</p> <p>大人 13,093人</p> <p>令和4年度新規登録者数 737人</p>	<p>4回</p> <p>25組</p> <p>50人</p> <p>54人</p> <p>1回</p> <p>1回</p> <p>4回</p> <p>各2日</p> <p>7日間</p> <p>年2回</p>	<p>25組</p> <p>50人</p> <p>54人</p> <p>5人</p> <p>10人</p> <p>22人</p> <p>4人</p> <p>1人</p> <p>8人</p>
--	--	---	--

2 長野市ファミリー・サポートセンター			
<p>長野市内における育児の援助を受けたい者（依頼会員）と育児の援助を提供するもの（提供会員）を会員として登録し、会員間による育児の相互援助活動を支援。仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域の子育て支援基盤を整備することにより、保護者等の福祉の増進、及び子どもの健やかな育ちを促進した。</p> <p>「活動の手引き」の在庫が終了したことに伴い、内容の見直しを行い、より読みやすいように修正し、印刷しなおした。（1,000部印刷）</p>			
<p>1 実施事業</p> <p>ア 入会説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員登録のために月1回開催 ・窓口入会 ・訪問入会 ・提供会員向け入会説明会を養成講座前月に年2回開催 内 講座修了者 8名 <p>イ 入会者数 148人 依頼会員 148人、提供会員 8人、両方会員 1人 ・体に障がいがある方の自宅へ訪問し、入会説明を行った。</p> <p>ウ 講習会 提供会員・両方会員養成講習会 ・援助活動をするために、知識等を習得する講習会 年2回（1講習5日間）開催</p> <p>エ 研修会・会員交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供会員・両方会員研修会・懇談会 提供会員更新講習の1講座として実施。 「リスクマネジメント講座」 「心肺蘇生法」 ・ふあみさぼひろば・全体交流会 ・心肺蘇生法 ・草木染 <p>オ 活動件数 2,223件（内 病児・病後児 7件） （内 事前打ち合わせ件数 62件） 会員数 1,787人 依頼会員 1,291人、提供会員 388人、両方会員 29人 内 病児病後児登録者 390人 依頼会員 349人、提供会員 31人、両方会員 10人</p>		<p>15回 随時 随時 2回</p> <p>7/11～7/16 2/20～2/25</p> <p>10月21日 12月15日 9月30日 11月12日</p>	<p>118人 41人 4人 45人</p> <p>延べ137人 延べ96人</p> <p>3人 11人 3人 8人</p>
<p>2 日常業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に自家用車を使用することが多い中、安全な活動を行うため、自家用車使用規定、使用申請書などを策定した。申請書等を活動中の提供会員に送り、提出していただいた。それに伴い、運転に懸念のある会員は、退会していく人が見受けられた。 ・活動中の提供会員にマスク・除菌ティッシュを配布し、コロナの感染防止対策に役立ててもらった。 ・依頼会員のサポート依頼を受け、提供会員を紹介しコーディネート ・提供会員から送られてくる援助提供書の管理、情報処理 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・会員情報の管理 ・会員募集 週刊長野・長野市民新聞等に取材に協力 ・広報活動…住民自治協の福祉ワーカーを訪問、 スポーツクラブへチラシ配布 ・3か月毎に保育・幼稚園課への活動状況の報告 		
3 子育て中のお母さんのためのリフレッシュ講座(自主事業)			
	コロナ禍のため、中止		
4 長野県立大学健康発達学部こども学科と長野市連携事業			
	<p>長野県立大学健康発達学部こども学科と長野市・長野県立大学連携事業として、「赤ちゃんママのおしゃべり会」を開催した。</p> <p>内容：校内に設置されているプレイルームを活用し、初めてママの交流を促進した。</p> <p>年4回 12月16日、1月6日、1月20日、2月3日</p>	年4回	25組 50人
5 休日マタニティセミナー (長野市保健所との協働事業)			
	<p>1 日 時：毎月第3日曜日 10:30～16:00</p> <p>2 会 場：もんぜんぷら座こども広場・もんぜんぷら座会議室</p> <p>3 スタッフ：助産師 2人、管理栄養士 1人、ボランティア助産師等 4人</p> <p>4 対 象：第1子出産予定で妊娠20～30週の妊婦とその夫（家族） のべ183組</p> <p>5 方法 午前10:30～12:30 / 午後2:00～4:00 各回8組</p> <p>6 内容等 ・講話（赤ちゃんのいる生活・母乳の育児等、妊娠中の食生活） 体験学習（沐浴・赤ちゃんのお世話）</p>	毎月 第3日曜日	
6 プレパパ・プレママのペアレンティングセミナー (清泉女学院大学看護学部との連携事業)			
	<p>妊娠期にある夫婦が、出産後の育児の現実とそれに伴う心理面や生活面の変化を知りイメージすることによって、お互いの出産後の育児についての考えを共有し、一緒に育児を進めるための準備を進める機会とする。</p> <p>ボランティアで、乳幼児を持つ親子1組に参加していただき、子育ての実際を体験した。</p> <p>担当：田中助産師、清泉女子大学看護学部石川智恵准教授</p> <p>1 期日： 年6回 土曜日開催</p> <p>2 時間： 13:30～15:30</p> <p>3 参加者合計：21組</p> <p>4 フォローアップ講座</p>	<p>5月28日</p> <p>7月23日</p> <p>9月24日</p> <p>11月26日</p> <p>1月28日</p> <p>3月26日</p> <p>12月4日</p>	<p>5組</p> <p>3組</p> <p>3組</p> <p>4組</p> <p>2組</p> <p>4組</p> <p>4組</p>

7 ホームスタート事業		
<p>家庭内での保育者の孤立感の解消、親の心身の安定を高める、親の子育てへの意欲を高める、親の子育てスキルの学習、問題の発見・モニタリングの目的のため、ホームスタートジャパンの手法を取り入れ、訪問型子育て支援事業「ホームスタート・ながのこどもの城」を運営した。 妊娠期から6歳未満の子どものいる家庭に途切れのない支援を行った。</p> <p>対象：妊娠期～6歳未満の子どものいる家庭 利用者：新規利用者89人、継続利用者7人 産前新規利用者16人、継続利用者1人 訪問数：延べ訪問数 628回 第8回ホームビジター養成講座 参加者8人 (5/26～7/7) 産前産後支援ホームビジター養成講座 参加者4名 (2/9.16) ホームビジタースキルアップ講座 年8回 トラスティ会議 運営委員会の開催 年1回</p> <p>ホームスタート関東エリア交流研修会・エリア会議 in 長野 運営リモートで開催 9月17日「ポピュレーションアプローチにおけるホームスタート～医療・保健・福祉の立場から～」 9月18日「10年計画について ～私たちのこれから～」</p>	<p>8日 64人 2日 8人 73人 8人 3月9日</p> <p>9月17日 98人 18日 61人</p>	
8 台風19号による被災児童とその家族への支援事業		
<p>令和元年度台風19号により被災した子どもと保護者が、被災や新型コロナウイルス感染症拡大予防による不安やストレスを軽減し、地域の復旧・復興への一歩を踏み出せるような「心の元気」を取り戻すことを目指した。</p> <p>1 子どもの居場所を開催し、運営した。</p> <p>① 子どもの居場所@バーチャル (4月～3月/毎週) 12:00～16:00 古里公民館 or かがやきひろば東北、長沼地区住民交流ハウス 中高生</p> <p>② 公民館自習室 豊野公民館 土曜日 12:00～16:00 豊野公民館 中高生</p> <p>③ 豊野学習支援 (不登校・行き渋り親の会からの依頼) 豊野地区住民自治協議会企画学習会含む) 不登校児対象 登録8名 豊野公民館 10月から月2回、月曜日</p> <p>④ 子どもの居場所 in 古里 (4月～12月) 日曜日 9:00～12:00 古里公民館 or 赤沼公会堂 幼児から小学生</p> <p>⑤ 子どもの居場所 in 権堂 (4月～3月) 第1・3火曜日、第2金曜日 長野市権堂イーストプラザ市民交流センター、本願寺長野別院 小中高生</p> <p>2 子どものリフレッシュプログラムを実施した。</p> <p>① 初夏のDAY キャンプ 株式会社イーエムラボ (往生地)</p>	<p>週1 48回 236人 実施率96%</p> <p>週1 48回 164人 実施率96%</p> <p>月2回 42人 14回</p> <p>週1 15回 121人 実施率83.3%</p> <p>月3 36回 520人 実施率100%</p> <p>7月3日 17人</p>	

<p>被災地の小学4～6年生 長沼地区 7名、松代地区 10名</p> <p>② 飯綱でDAY キャンプ 7月31日実施予定であったが、コロナ蔓延のため中止</p> <p>③ ウィンターキャンプ in 善光寺 善行寺周辺 長沼小学校5,6年生</p>	<p>12月3日 ～4日</p>	<p>10人</p>
<p>3 子育て中の保護者の居場所と傾聴活動 こどもの居場所への参加児童の保護者には、送迎の際に話ができるよう設定した。必要な場合にはスクールソーシャルワーカーとも連携して支援している保護者もいる。</p> <p>・「不登校・行き渋り親の会」おしゃべり会へスタッフを派遣 豊野公民館 令和4年11月13日、令和5年1月14日、2月11日、3月4日 14:00～17:00</p>	<p>11月13日 1月14日 2月11日 3月4日</p>	<p>7人 11人 6人 18人</p>
<p>4 緊急時における子ども支援ネットワーク事業 令和4年5月、緊急時における子ども支援ネットワーク立ち上げに向けた検討委員会を立ち上げ、子ども支援に関わるNPO関係者に加え、長野市や地元の大学、災害中間支援団体の参画調整を行った。 ネットワーク設立に向けた検討を行いながら、学習会・交流会を継続。支援者間の顔の見える関係を維持しながら、学びを深める機会を提供した。コロナの影響でリアル参加を制限される方もいたため、オンライン開催を中心に進めた。 令和5年2月12日には、「長野市緊急時における子ども支援ネットワーク」が設立され、当法人事務局長の小笠原憲子が代表となり、法人として事務局を担っていくことが決定。長野市が相談役として参画し、災害時には市に集約された情報を参考に、ネットワーク運営委員会において必要な支援を検討し、ネットワークとして取り組む支援を決定していく体制を整えていく予定。</p>		
<p>① 子ども支援（被災者支援）コーディネーションガイドライン学習会 6月18日（土）</p>	<p>6月18日</p>	<p>37人</p>
<p>参加者数 37名（当日参加者 20名／アーカイブ視聴 17名） 開催形式 WEB アプリケーション「Zoom」を使用</p>		
<p>② それぞれの特性を活かしたネットワークづくりを考える交流会 9月10日（土）</p>	<p>9月10日</p>	<p>25人</p>
<p>参加者数 25名 開催形式 ウェブアプリケーション「Zoom」を活用</p>		
<p>③ 子どもにやさしい空間づくりの学習会 11月12日（土）</p>	<p>11月12日</p>	<p>17人</p>
<p>参加者数 17名 開催場所 若里文化ホール</p>		
<p>④ 長野市緊急時における子ども支援ネットワーク設立総会 2月12日（日）</p>	<p>2月12日</p>	<p>47人</p>
<p>参加者数 47名 開催形式 ウェブアプリケーション「Zoom」を活用しハイブリット開催（長野市生涯学習センター）</p>		

こどもの心とからだの相談事業

1 こどもの心とからだの相談室			
	1 日時：毎月 第1木曜日 14時から16時 2 会場：もんぜんぷら座こども広場活動室	8回	24件

あそび、体験に関する事業

1 ながの子ども・子育て応援フェスティバル キック・オフ・フォーラム			
	1 趣旨 子どもを産み育てやすい都市の実現に向けて、子ども達の健やかな成長を願い、地域で子育てを応援している団体・企業が集い、その想いを共有し、地域・社会が一丸となって子ども・子育てを支えるためのネットワークを形成するとともに広報の場として開催した。 2 テーマ 「ここで子育てをしたい！」 3 期日 令和4年9月19日(月) 11時～15時 4 場所 長野市若里市民文化ホール 5 主催 ながの子ども・子育てフェスティバル実行委員会 構成団体として参加(理事長 実行委員長、事務局) 6 来場者数 総数250名 7 内容 基調講演 長野市長 荻原 健司 パネルディスカッション 田中理事長パネリストとして参加 子育てに関する相談 田中理事長 小児科相談担当として参加 支援情報の発信 こどもの城の活動を展示		
2 食育講座			
	1 会場：イーストプラザコミュニティホール①、② 2 参加者：こどもカフェへの参加幼児から中学生とその保護者 3 内容：季節に合わせた食文化を楽しみながら体験。		
3 冬のあそび広場2022			
	もんぜんぷら座で開催されるフェスタもんぷら2023と同時開催予定であったが、独自に5日から11日まで。体を動かす遊びを提供した。 1 場所：じゃん・けん・ぽん 2 日時：令和5年2月		
4 リフレッシュプログラム (一般社団法人長野県ライオンズ)			
	2019年東日本台風の被害を受けた子ども達が、日常の生活と離れ、様々な体験を通しリフレッシュし、また地域の大人とのコミュニケーションを通して将来を見通せるきっかけづくりの機会として開催した。 初夏のDAYキャンプ 7月3日 開催場所：株式会社エーエムアイ・ラボ(往生地) 城山公園周辺	7月3日	17人

	ドローン体験、農作業用ロボット体験、野外レクリエーション等の体験 参加者数 17名 被災地の小学4～6年生 長沼地区 7名、松代地区 10名		
--	--	--	--

5 日本財団第三の居場所開設事業			
	<p>経済状況や家庭環境に課題を抱える小学生（主に小学校低学年を対象とするが、小学校高学年や中高生の受け入れも可）を中心とする子どもを対象に学習支援に加えて、基本的な生活習慣を身につけるための支援等を行う居場所の開設にあつて、改修事業を行った。</p> <p>場所 もんぜんぷら座1階（卯月堂、かなめや跡） 工事期間 令和4年12月1日～令和5年2月28日 総工費 日本財団助成金 修繕費 39,732,000円 備品購入費 3,038,000円</p>		

*** こどもの活動に取り組む人材育成事業 ***

1 中高生の子育て理解講座の開催			
	<p>1 会場：こども広場じゃん・けん・ぽん 2 対象：地域まるごとキャンパスの参加者</p>		10人
2 地域まるごとキャンパスへの参加			
	<p>高校生以上の学生に、地域・社会づくりの担い手となりうる「市民性」を育むことをねらいとした活動に、短期フィールドとして参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども広場 じゃん・けん・ぽん 10名 延べ30日 ・ながのこどもわくわくカフェ 4名 延べ7日 		30人 7人
3 ユースリーチへの参加			
	<p>地域に愛着を持ち、地域のために活躍する若手の人材育成を目指して、長野市周辺の高校生及び大学生を対象に、地域課題の解決に向けて活動する学生のコミュニティ「youth reach」に活動フィールドとして「子どもの居場所 in 権堂」が参加したが、希望者がいなかった。</p>		

*** こどもの文化芸術に関する事業 ***

1 こどものアートプログラム			
	秋ころ実施		

子育て情報の交流促進や、子育て情報誌の発行事業

1 子育て情報誌じゃん・けん・ぼんの発行			
	子育て・子育て支援の情報提供や交流を目的に、子育て情報誌じゃん・けん・ぼんを発行し、広場利用者、市内小児科医院や行政、保健センター、支援センター等に配布し、広報した。	年 6 回	12,000 部
2 ホームページによる情報提供			
	日々情報を更新。また、昨年に引き続き「じゃん・けん・ぼん日記（ブログ）コーナー」を設け、スタッフが交代で毎日更新した。 休業中には、家庭で過ごしている親子に手遊び等を動画で毎日発信し、提供した。 ホームページの更新 Face book への投稿 休業中の動画アップ 4/1～4/28 4,972 回の視聴		
3 週刊長野等への情報提供			
	週刊長野へじゃん・けん・ぼん便り「子どもも親も いきいきと」として、理事交代で、月 1 回子育て・子育て支援の情報を提供した。12 回モナミ、ほっとパルへも情報の提供をした。	毎月	

子育てに関わる各種グループや、 機関団体との交流促進事業

1 長野看護専門学校			
	長野看護専門学校母性保健学講座の臨地実習の場として連携。 28 に人 各 2 日 5 月 17 日 から 9 月 30 日		延 べ 54 人
2 長野市キャリア教育推進事業「赤ちゃんだっこ」			
	乳幼児とその保護者が長野市内の中学校に出向き、幼児とのふれあいを通して、幼児に関心を持つとともに、自分の成長や家族・家庭、幼児の発達と生活について関心と理解を深め、家族や幼児に積極的にかかわることができるようにする。また、これからの生活を展望して、課題をもって家庭生活をよりよくする態度を育てる。 コロナ禍のため休会		
3 あそびましょう			
	もんぜんぷら座こども広場「じゃん・けん・ぼん」に出て来にくい東部保健センター地域に出向き、地域密着の保護者の育児支援を保健センター保健師等と共催で行った。コロナ禍により休会となった月があった。 1 開催日 毎月第 2、4 木曜日を中心に月 2 回 2 開催場所 長野市東部保健センター 3 対象 1 歳から 3 歳までの未就園児とその保護者	1～2 歳児	36 組 86 人

4	内容 手遊び・体操、ワンポイントアドバイス	2～3歳児	78組 161人
4 ふたご・みつご広場			
	長野市保健所との協働事業、北部保健センターと共催。 多胎児親子向けの遊びの広場を長野市民生児童委員協議会主任児童委員部会のボランティアと運営した。 日時 毎月第1月曜日 10時から11時30分 1回 8組		76組 239人
5 第三地区「サンサン広場」			
	第三地区まちづくり協議会主催の未就園児を持つ母親のストレス解消するための「子育てサロン」の運営を支援する。また、地域の方々を子育て・子育てボランティアとして育成する。 毎月 第2木曜日	年10回	112組
6 地域との連携			
	中心市街地を中心に権堂町等地域の行事に積極的に参加する。 5月 ・・善光寺花回廊 8月 ・・権堂町七夕まつり 2月 ・・灯明まつり ゆめ灯り絵展に出展 2/9～2/12	中止 中止	
7 長野労働局との連携			
	長野労働局が開催した「子育て女性に対する就業支援事業」における受講者の託児を実施する。 月1回 コロナ禍のため、広場が休業となり、年6回の開催となった	10回	26人

チャイルドライン事業

チャイルドライン	
1	チャイルドラインながの運営 ① 電話受付業務 週2日、月・水曜日の午後4時から午後9時まで、子どもからの電話を受け付けた。 ② 「第20期受け手養成講座」 (全10回) 9/3～11/26 養成講座受講生 16名 ③ 受け手支え手継続研修 (全11回) 9/3～11/26 参加会員 14名 2/18 「死にたい思いを抱えた子どもたちに寄り添うには」 白神敬介氏 15名 ④ 運営委員会・総会 7/16 参加者 14名 ⑤ 事務所の運営 事務局3名を置き、業務に従事

2 広報

チャイルドライン事業を広く周知し、行政や地域の方々に理解、支援してもらうため、資料、実績、データの入ったパンフレット、養成講座のチラシ等を作成し配付

- ① 社会福祉協議会・施設・図書館等へ養成講座の案内チラシを配布
- ② 信濃毎日新聞へ養成講座募集案内を依頼
- ③ ポスター、カードを児童館、フリースクール、子ども食堂、小児科へ配布
- ④ 要請に応じ出前講座を実施
10/17/11/28 清泉女学院大学 「チャイルドラインの現場から」
- ⑤ 高校（フィールドワーク）の要請に応じ取材対応
8/22（長野市立長野高校）、11/28（長野県立長野高校）
- ⑥ ながの子ども・子育て応援フェスティバル パネル展示

3 財政・渉外

- ・カード協賛依頼 8件
長野県小児科医会・(株)本久ホールディングス・栗田病院・今井こども病院・(株)シユーマート・タイヤ&ホイールMANEKI-MOAI ZOU・ながのりんどうライオンズクラブ・竹内こども医院
- ・寄付金 20件
- ・賛助会費 団体 7件・個人 33人
- ・募金箱の設置・・・ 23か所（新規1か所）

4 長野県チャイルドライン推進協議会の事業に参加・協力

- ・4/14 総会
- ・6/18 合同研修会 @佐久
- ・7/27 長野県庁へチャイルドラインカード搬入
- ・8/10 盲学校カード搬入とチャイルドラインカード配布作業手伝い
- ・9/15・11/17・1/31・3/17 運営委員会（全4回）@上田

5 チャイルドライン支援センターの事業に参加・協力、北関東信越エリア会議

- ・6/11 支援センター総会 【ZOOM】
- ・5/14・7/16・10/16・3/11 北関東信越エリア会議（9団体）（全4回）【ZOOM】
- ・1/21 エリア研修 荻上チキ氏講演会 【ZOOM】

6 長野県の会議に出席

- ・9/13 令和4年度LINE相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」連絡協議会
@県庁・【ZOOM】

7 長野市の事業・会議に出席

- ・11/27「ヤングケアラー」研修 持田恭子氏 主催：子育て家庭福祉課 【ZOOM】
- ・1/28「子どもの権利ってなあに？CAPワークショップで学ぼう」
主催：長野市子どもにやさしいフォーラム
- ・2/12 長野市緊急時における子ども支援ネットワーク会議

8 NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクトの会議に出席

- ・5/19・5/28・7/14・9/6・12/14・2/27 【もんぜんぷら座・ZOOM】

9 他団体の研修、講演会参加 (12回)

◎ 事業の内容及び経費の配分

- ・「受け手」養成講座開講
- ・「受け手」「支え手」のための研修会を開催
- ・事務局員の配置
- ・事務所諸経費（管理費、専用電話、光熱費他）
- ・チャイルドライン事業を地域、社会へ周知し、理解と支援を図るためにパンフレット作製と配布
- ・子どもへのチャイルドラインの電話番号お知らせのカード作成、配布
(チャイルドラインすわ、チャイルドラインうえだ、チャイルドライン佐久と連携、協力)
- ・チャイルドライン支援センター・長野県チャイルドライン推進協議会の事業への参加
- ・運営に当たって必要が生じたもの
上記に掛かる必要経

◎ 活動人員数

- ・受け手 登録数 34名
実働数 26名
- ・支え手 登録数 3名
実働数 3名